

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	企業戦略実習（Practice of Corporate Strategy）		
ナンバリングコード	E30209	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E045351	クラス名	-
担当教員名	小久保 雄介、黄 賀		
履修上の注意、 履修条件	経営学とその関連分野で学習したことをもとにしてケーススタディを行います。 そのためには授業への参加はもちろんのこと予習、復習は欠かせません。 ケーススタディでの発言も成績に加味されますので、積極的に発言してください。 当然、私語は慎むようにしてください。（作業の時は周りと話しながらでも構いません）オンとオフを切り替えること。		
教科書	授業内で資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	毎週授業内で担当が提示します。		
関連科目	経営学入門、経営学総論、マーケティング論、企業戦略基礎		

○基本情報		
授業の目的	本授業の目的は実世界で起きていることと理論を結びつけることです。 基本的な戦略論を学習し、それらがどのように用いられているかを理解します。	
授業の概要	本授業では、15回の授業の前半1／3では最低限つけてほしい経営戦略の知識を学習します。残りの2／3は実際の企業のケースを読みながら問いに答えるケーススタディを行います。ケースを読み込み理論と実際の企業活動を知ることにより理論がどのように使われているかを学習します。 毎回の授業では冒頭で先週の復習や事前・事後学習の振り返りパートを行いその後授業を展開していきます。 毎回提出物が課されて行きますのでしっかりと取り組んでください。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	講義、グループワークへ積極的に参加し、戦略論への興味関心を持つこと。		15点	
【知識・理解】	戦略論の各種手法についての基礎知識を理解する。	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	企業戦略についての分析やケーススタディにおいてプレゼンテーションなど各種発表ができるようになること。		10点	10点
【思考・判断・創造】	ケーススタディを通して実社会での動きを理論に落とし込むことができること。		20点	15点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
授業への貢献度＋自分事として捉えられているか(コメントペーパー、出席など)15% ケーススタディへの参加度(発言など)30% 授業内で出される課題20% レポート15% 期末試験20% レポート・課題については締め切り後にフィードバックを行う。 各種評価の方法については授業内で基準を提示する。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	企業戦略実習（Practice of Corporate Strategy） 小久保 雄介、黄 賀	授業コード	E045351
学修内容				
1. イントロダクション 経営戦略とは(小久保)				
授業の目的、評価の方法などを確認する。また、経営戦略とは何かを学習する。				
予習	経営戦略とは何かを自分なりに調べる。			(約2.0h)
復習	自分の興味のある企業を取り上げ、どのような戦略をとっているか調べる。			(約2.0h)
2. ドメインと成長戦略(小久保)				
企業のあるべき姿を現すドメインについて学習する。ドメイン定義の理由や再定義について学習します。また、企業の成長についてアンゾフの成長ベクトルについて理解を深めます。				
予習	成長している企業を探し、なぜ成長しているかを考える。			(約1.0h)
復習	事後学習の課題を行う			(約3.0h)
3. 多角化戦略(小久保)				
企業の成長の方法の一つである多角化について学習します。どのような方法で多角化をすると良いか、どの事業に投資すべきかなどを考えるツールについて理解を深めます。				
予習	世の中の多角化企業を取り上げてどのように多角化しているかを調べる。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
4. 競争戦略(黄)				
企業の成長は他社との競争に勝つことで成し遂げられていきます。今回の授業ではどのように競争で勝ち抜くかについて経営戦略の観点で考えていきます。				
予習	市場で優位に立っている企業を調べ、なぜ優位にいるかを調べる。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
5. 資源ベースアプローチ(黄)				
企業の内部要因が競争優位の源泉になることがしばしばあります。企業の内部にどのような競争優位の源泉があるかを発見するツールなどについて学習する。				
予習	前回の予習内容を踏まえて、企業の内部にどのような競争優位の源泉があるかを考える。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
6. 戦略の概観、ケーススタディへのいざない(小久保)				
ここまでで学習した戦略論についてのまとめを行う。さらに実際の企業で戦略をどのように立てて実行するかについてのケースを解説する。				
さらに次回以降実施するケーススタディへの参加の仕方などについて解説を行う。				
予習	ここまで学習した戦略論の復習を行う。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
7. ショートケースを考える①(小久保)				
宿題でショートケースを読んでもらい、その後受講生と教員で与えられた問題についてディスカッションを行う。				
予習	ディスカッションに参加する際に注意すべきことを考える。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
8. ショートケースを考える②(黄)				
宿題でショートケースを読んでもらい、その後受講生と教員で与えられた問題についてディスカッションを行う。				
予習	前回のケースの復習を行う。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)

○授業計画	科 目 名	企業戦略実習 (Practice of Corporate Strategy)	授業コード	E045351
	担当教員	小久保 雄介、黄 賀		
学修内容				
9. ケーススタディ①(1) ケースの読み込み・ディスカッション(小久保) ある企業の事例を丁寧に読み込み、自分なりに考え、どのような戦略を行っているか、実際のどのような理論を用いているかなどを受講生と教員でディスカッションを行う。				
予習	ケースで扱う企業について調べる。			(約2.0h)
復習	ケースを読み込み、どのような理論が実際に使われているかを調べる。			(約2.0h)
10. ケーススタディ①(2) ケースの分析、まとめ(小久保) 前週扱ったケースについて理論的な部分の解説を行う。また、似たようなことを行っている他の企業の事例をいくつか調べ、発表を行う。				
予習	ケースで扱う企業が行った戦略と同様の戦略を行う企業の事例を調べる。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
11. ケーススタディ②(1) ケースの読み込み・ディスカッション(黄) ある企業の事例を丁寧に読み込み、自分なりに考え、どのような戦略を行っているか、実際のどのような理論を用いているかなどを受講生と教員でディスカッションを行う。				
予習	ケースで扱う企業について調べる。			(約2.0h)
復習	ケースを読み込み、どのような理論が実際に使われているかを調べる。			(約2.0h)
12. ケーススタディ②(2) ケースの分析、まとめ(黄) 前週扱ったケースについて理論的な部分の解説を行う。また、似たようなことを行っている他の企業の事例をいくつか調べ、発表を行う。				
予習	ケースで扱う企業が行った戦略と同様の戦略を行う企業の事例を調べる。			(約2.0h)
復習	事後学習の課題を行う。			(約2.0h)
13. ケーススタディ③(1) ケースの読み込み・ディスカッション(小久保) ある企業の事例を丁寧に読み込み、自分なりに考え、どのような戦略を行っているか、実際のどのような理論を用いているかなどを受講生と教員でディスカッションを行う。				
予習	前週のケースを読み込み、どのような理論が使われているか再度考える。			(約2.0h)
復習	ケースで扱った理論を実際に行っている事例を探す。			(約2.0h)
14. ケーススタディ③(2) ケースの分析、まとめ(小久保) 前週扱ったケースについて理論的な部分の解説を行う。また、似たようなことを行っている他の企業の事例をいくつか調べ、発表を行う。				
予習	ケースで扱う企業について調べる。			(約2.0h)
復習	ケースを読み込み、どのような理論が実際に使われているかを調べる。			(約2.0h)
15. まとめ、総合質疑 14回までの授業の復習を行う。また、復習を行う上で生まれた質問に回答を行う。				
予習	今までの授業の復習を行い、不明な点を洗い出す。			(約2.0h)
復習	期末試験に向けての勉強を行う。			(約2.0h)
16. 定期試験 1～15回までの内容についての試験を行う。				
予習	今までの学習の復習を行う。			
復習	定期試験について自己分析を行う。			